

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療学科】

科目名		ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
クリニカルリーズニング			必修	1	2	後期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
関根 聡美 他		D313	s.arakawa		火曜 12:00～13:00	
授業の目的・概要	理学療法を遂行する上で必要となる対象者の問題点の抽出方法について学習する。遠隔授業にて、同時双方向型で行う演習を中心に、臨床思考方法について理解を深め、模擬症例を通じて必要な評価項目の抽出、目標設定、プログラム立案等の理学療法評価に関する総合的な思考法を身に付ける。					
授業形式・方法	☐ 対面授業 ☒ 遠隔授業(双方向型) ☐ 遠隔授業(自主学習)	☒ 講義 ☐ 実習	☒ 演習 ☐ 実技	☒ PBL ☒ グループワーク ☐ その他（	☐ 反転授業 ☐ プレゼンテーション	☒ ディスカッション・ディベート ☐ 実習・フィールドワーク
学習上の助言	専門基礎科目および理学療法評価学の内容を復習しておくこと。また、専門基礎科目の整形外科学、神経内科学、内科学について理解を深めること。グループワークでは積極的に発言すること。					
教科書	特になし					
参考書	各疾患系理学療法評価演習・理学療法評学・整形外科学・内科学・神経内科学で使用している教科書					
外部教材	特になし					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	問題点の抽出方法について理解し、説明できる				PT (2)、(3)、(5)、(6)	
②	目標設定、プログラム立案方法について理解し、説明できる				PT (2)、(3)、(5)	
③	中枢神経系疾患の臨床思考方法について理解し、説明できる				PT (2)、(3)、(5)	
④	運動器系疾患の臨床思考方法について理解し、説明できる				PT (2)、(3)、(5)	
⑤	内部障害系疾患の臨床思考方法について理解し、説明できる				PT (2)、(3)、(5)	
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等		授業の方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	クリニカルリーズニングの概要の講義を行う。	[担当] 関根聡美	同時双方向授業	配布資料を中心にまとめる。	1	
2	総論 理学療法におけるクリニカルリーズニング①	[担当] 高村浩司	同時双方向授業	配布資料を中心にまとめる。	1	
3	総論 理学療法におけるクリニカルリーズニング②	[担当] 高村浩司	同時双方向授業	配布資料を中心にまとめる。	1	
4	中枢神経系疾患①におけるクリニカルリーズニングを学ぶ。	[担当] 高村浩司	同時双方向授業	配布資料を中心にまとめる。	1	
5	中枢神経系疾患②におけるクリニカルリーズニングを学ぶ。	[担当] 高村浩司	同時双方向授業	配布資料を中心にまとめる。	1	
6	中枢神経系疾患③におけるクリニカルリーズニングを学ぶ。	[担当] 高村浩司	同時双方向授業	配布資料を中心にまとめる。	1	
7	運動器系疾患①におけるクリニカルリーズニングを学ぶ。	[担当] 坂本祐太	同時双方向授業	配布資料を中心にまとめる。	1	
8	運動器系疾患②におけるクリニカルリーズニングを学ぶ。	[担当] 坂本祐太	同時双方向授業	配布資料を中心にまとめる。	1	
9	運動器系疾患③におけるクリニカルリーズニングを学ぶ。	[担当] 坂本祐太	同時双方向授業	配布資料を中心にまとめる。	1	
10	スポーツ系疾患におけるクリニカルリーズニングを学ぶ。	[担当] 坂本祐太	同時双方向授業	配布資料を中心にまとめる。	1	
11	内部障害系（代謝疾患）①におけるクリニカルリーズニングを学ぶ。	[担当] 関根聡美	同時双方向授業	配布資料を中心にまとめる。	1	
12	内部障害系（代謝疾患）②におけるクリニカルリーズニングを学ぶ。	[担当] 関根聡美	同時双方向授業	配布資料を中心にまとめる。	1	
13	内部障害系（呼吸循環器）①におけるクリニカルリーズニングを学ぶ。	[担当] 甘利貴志	同時双方向授業	配布資料を中心にまとめる。	1	
14	内部障害系（呼吸循環器）②におけるクリニカルリーズニングを学ぶ。	[担当] 甘利貴志	同時双方向授業	配布資料を中心にまとめる。	1	
15	総括	[担当] 関根聡美	同時双方向授業	配布資料を中心にまとめる。	1	
試	定期試験					

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

達成度評価							
総合評価割合（％）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	30	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	25	10	0	0	0	35
	思考・推論・創造する力	25	10	0	0	0	0
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	20	5	0	0	0	25
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	定期試験を実施し、達成度評価を行う（評価割合：70％）			試験結果の返却または開示	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
レポート	①	✓	各教員から課されたレポートを提出し、達成度評価を行う（評価割合：30％）			試験結果の返却または開示	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員		高村浩司、坂本祐太、甘利貴志					
教員の実務経験		理学療法士として総合病院・介護施設等での臨床経験有り。					
実践的授業の内容		症例情報に基づいた課題に取り組むことで学修してきた知識を定着させ、実際の理学療法における思考方法の理解を深める。					
そ の 他		Teamsを使った同時双方向型授業を行う。授業時は通信容量が無制限のWi-Fi環境を推奨する。遠隔授業では、課題のダウンロードや動画視聴などがあるため、通信量に十分に注意すること。今後の感染症の状況など、社会情勢に応じて再度シラバスの変更が生じる可能性がある。					